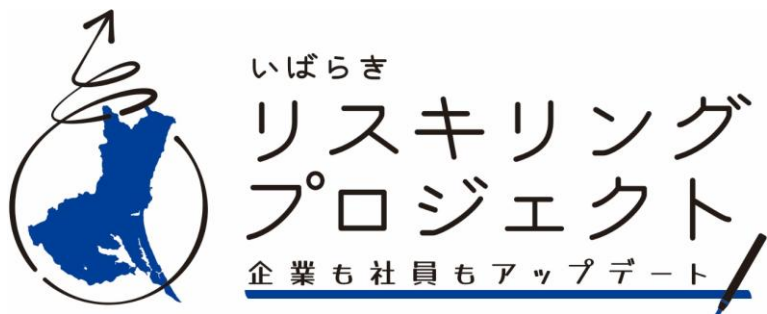




茨城県リスキリング推進政策パッケージ2.0

2026年5月29日

茨城県リスキリング推進協議会

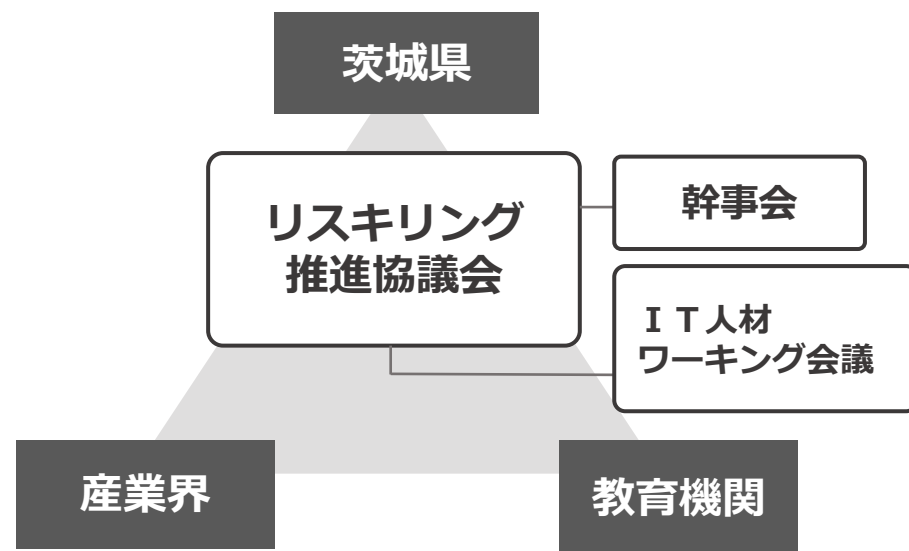
これまでの経緯

産学官の共通理解・連携のもと、リスキリングを強力に推進するため、

「茨城県リスキリング推進協議会」を設置



● 体制



● 事業KPI（3年間）

推進宣言企業数 **150社**
顕彰企業数 **30社**

推進宣言企業

2023年▶25社 / 2024年▶56社 / 2025年▶140社（※1月現在）

顕彰企業

2023年▶10社 / 2024年▶6社 / 2025年▶9社

● 経過

2023年

1月	第1回協議会	検討事項、検討体制、スケジュール
2月	第1回ワーキング会議	県内企業のデジタル化の現状・課題
4月	第1回幹事会	施策の方向性
5月	第2回ワーキング会議	デジタルスキルの内容
7月	第3回ワーキング会議	デジタルリテラシーの習得方法
		ワーキング会議報告書（案）
8月	第2回幹事会	政策パッケージ（たたき台）
9月	第4回ワーキング会議	ワーキング会議報告書
	第3回幹事会	政策パッケージ（案）
10月	第2回協議会	

2024年

3月	第4回幹事会	令和5年度の実績と今後の方向性
----	--------	-----------------

2025年

2月	第5回幹事会	令和6年度の実績と今後の方向性
11月	第6回幹事会	これまでの効果検証と今後の方向性

2026年

2月	第3回協議会	
----	--------	--



[宣言企業数] **221社**

[今年度顕彰企業] **25社**

本県のリスキリング施策 ～ 2本の柱～

茨城県リスキリング推進政策パッケージを策定し、
「意識啓発・機運醸成」 「スキル習得」の2本の柱で施策を実施

■ 意識啓発・機運醸成

リスキリング
推進宣言制度

リスキリング
先進企業の表彰

ワークショップ
シンポジウム

ポータルサイト
による情報発信



■ スキル習得支援

スキルの見える化

県認定講座の設定
(オープンバッジ)

AIマッチングシステム

リスキリング
キャリア相談

これまでの取組みの分析と効果検証①

●リスキリング推進宣言・顕彰制度

・推進宣言企業数：221社（目標：150社）

2023年▶25社 / 2024年▶56社 / 2025年▶140社

アンケート結果

- ✓ 宣言をきっかけに取組が進んだ(9割)
- ✓ 人材育成により業務の効率化・省力化を実現(5割)
- ✓ 推進宣言後、人材採用が向上(2割)
- ✓ スキル習得の必要性への理解向上(10割)
- ✓ 売上が向上(平均8%)

企業ヒアリングによる分析・評価

- 宣言により社内の取組みが明確化
- 従業員のスキル習得による成果と評価・処遇の改善を結び付けていきたい
- トップダウンで推進体制が整えられた等の声

・顕彰企業数：25社（目標：30社）

2023年▶10社 / 2024年▶6社
2025年▶ 9社

(株)ヒバラコーポレーション

工場生産のDX化と技術開発で製造業の変化に対応し、生産性向上と経営拡大を実現。ソリューション事業へ進出。

水本木材工業(株)

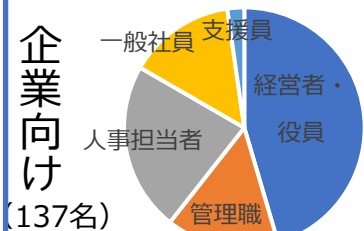
Kintoneやセンサーの活用で他社との差別化を実現し、取引先と共に優位性ある企業体質へ変革。売上を大幅に拡大。

これまでの取組みの分析と効果検証②

● ワークショップ・シンポジウム

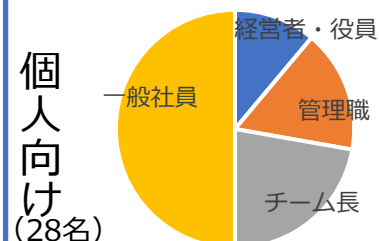
・ワークショップ 参加者数：274名

アンケート結果



✓ 役に立った。人材育成の必要性への理解が進んだ(10割)

✓ 業務効率化を実践し賃金増・残業減(9割)



✓ 役に立った、理解が深まった(10割)

✓ データ・AI・IT分野等のスキル習得が進んだ(4割)

分析・評価

- 企業の人材育成の取組みが、漫然とした状態から具体的な行動計画や組織内対応の検討へと進んだ
- 社内への理解浸透と推進は経営トップの役割であるとの意識変革ができた
- 企業・個人ともに、ワークショップを契機に、具体的行動変革・実践意欲創出につながっており、**単なる知識習得に留まらず、実践的な変革を促す重要なトリガーとなっている**

海老根建設(株)

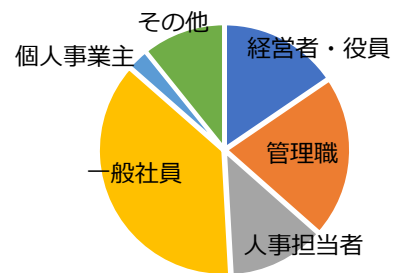
- ・タスクを細分化し、工事書類作成等を担当する専門部署を設置。3D画像分析などのスキル習得を促進
- ・高齢の現場社員を、重機・建機の講師として育成し、活躍の場を提供

これまでの取組みの分析と効果検証③

● ワークショップ・シンポジウム

- ・シンポジウム 参加者数：694名

アンケート結果



- ✓リスキリングへの理解が深まった（9割）
- ✓トークセッション・参加者交流会がとても参考になった（8割）
- ✓業務改善・スキル育成・DX推進に積極的に取り組むことを検討（30者）

分析・評価

- 県内事例やトークセッション等による多角的な情報提供が高評価
- 参加者のリスキリング理解を大幅に向上させ、実務への展開意欲の後押しとなった



表彰式の様子



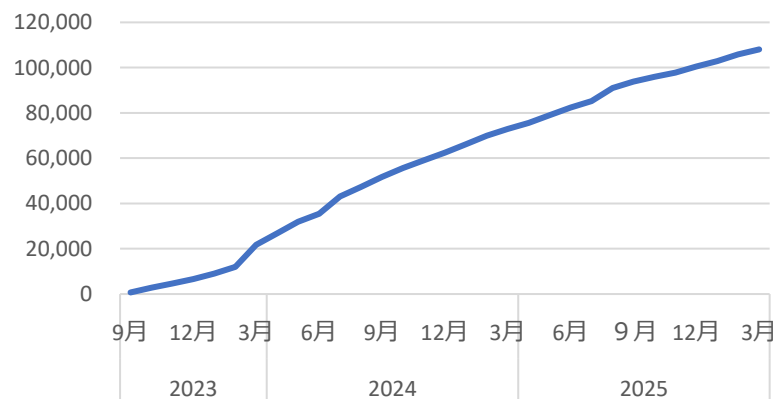
トークセッションの様子

これまでの取組みの分析と効果検証④

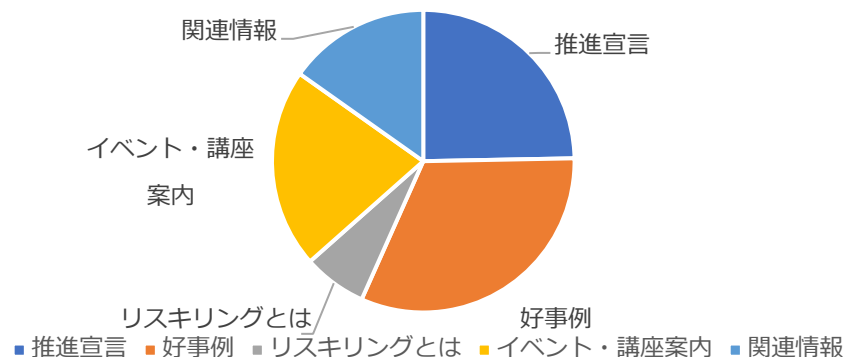
●ポータルサイト

総アクセス数：108,057（2023.9～2026.3）

総アクセス数（総PV数）の経過



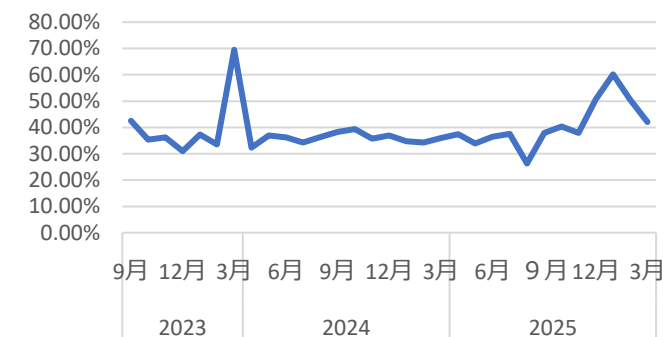
コンテンツの閲覧内訳（2026.3）



リピーター



直帰率



分析・評価

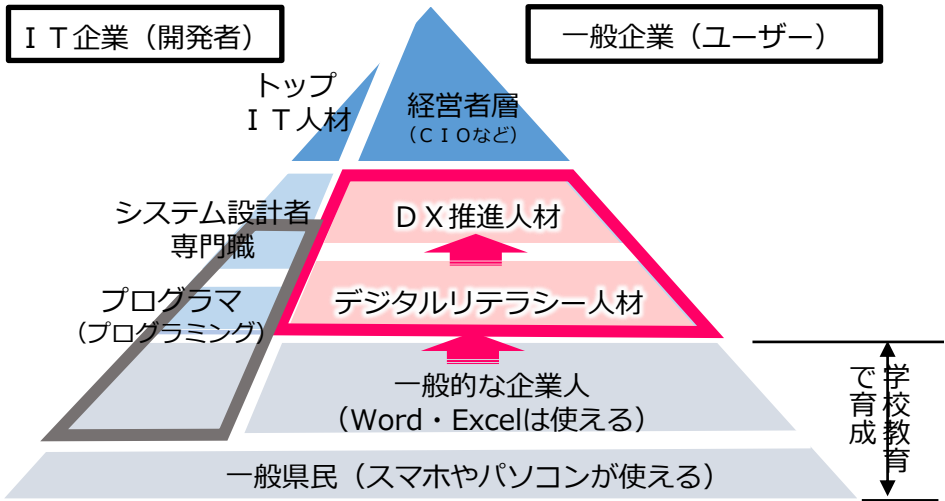
- 累計総アクセス数は108,000件超え、**継続して利用増加中**
- 企業の好事例に係るページの閲覧割合が32%と最も多く、次いで「リスティング推進宣言」に係るページが25%を占めている
- 一定のリピーター定着があり、直帰率も40%程度で安定
- **サイトの滞在時間は6分程度で、十分に滞在して閲覧している**
- **推進宣言、好事例を起点に横展開を促進する情報発信ツールとして有効に機能**

これまでの取組みの分析と効果検証⑤

● 県認定講座の設置

成長産業をけん引する人材のスタートラインとして、デジタルリテラシー人材を育成

デジタルに関する「**基礎的な知識（＝理論）**」の習得に加え、それらの知識を実際の企業活動の現場で活用し、課題解決につなげる「**実践力**」の習得を支援することで、一般的な企業人をデジタルリテラシー人材に引き上げる



・ 教育機関への社会人向けリスティング講座設置支援 【理論】

	対象機関	受講者数
2023年	筑波技術大学 大原学園	7名 1名
2024年	筑波技術大学 茨城キリスト教大学	6名 8名
2025年	茨城キリスト教大学	5名

分析・評価

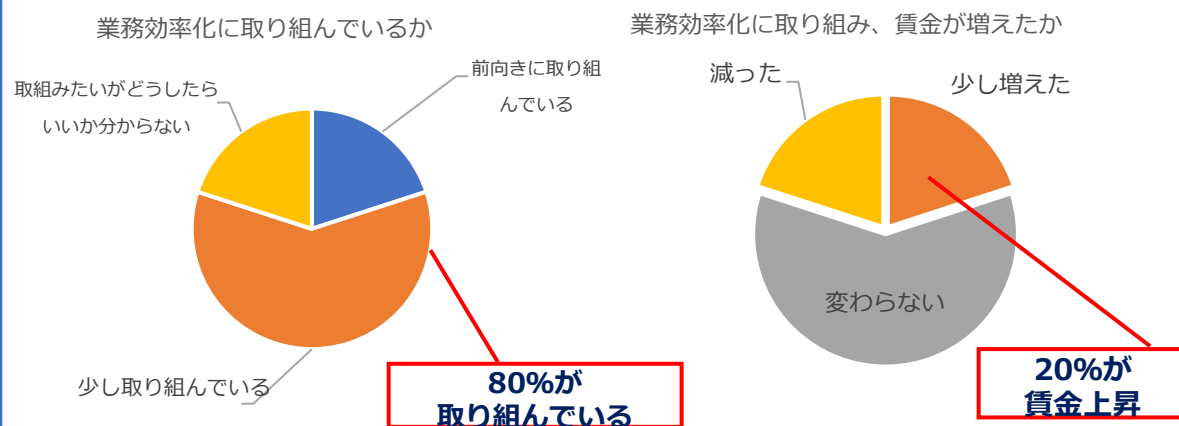
- 2024年度までに3教育機関と連携し、社会人向け講座の開発・運営体制の構築を通じて、社会人教育の礎を醸成
- 講座の標準化や運営ノウハウの定着など、一定の成果が見られる
- 2025年度6校がデジタル系講座を実施しており、2026年度以降は8校が実施予定であるなど、教育機関側の供給体制が整いつつある

これまでの取組みの分析と効果検証⑥

・デジタルリテラシー実践講座 【実践】

受講者数：97人（2023年から実施）

アンケート結果



分析・評価

- 講座の受講を通して、業務効率化に取り組む、賃金の上昇に繋がる事例が出始めている。

＜＜認定講座受講後の従業員の活躍事例＞＞

日東自動車機器(株)

- ・ 属人化解消を目的に、現場主導でアプリ開発やデータの可視化を推進し、業務効率化の実現をけん引したことで高く評価され、**複数回の社長賞を受賞**
- ・ **幹部候補にも推挙**されている
- ・ 自身の取り組みが周囲で活用されるため、会社へのエンゲージメントが高い

(株)ヴィオーラ

- ・ **現場のデジタル活用（作業実績収集のデジタル化）プロジェクトの推進リーダーとして抜擢され、昇進。**本人のモチベーションも向上。
- ・ DX認定を目指し、会社全体でDXの取組みを推進

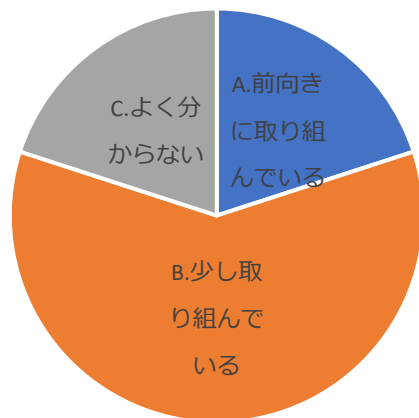
これまでの取組みの分析と効果検証⑦

・データサイエンティスト育成講座

受講者数：148名（2020年から実施）

アンケート結果

知識を経た業務の効率化



分析・評価

- 業務の効率化の取り組みを実施（約8割）
- データに基づく意思決定体制の構築に寄与
- 一方、**事業の難易度や実施時期・場所の関係で受講者数が集まりにくい**といった課題

(有)櫻井運輸

トラックの出庫時間など業務データを分析し、業務分担の見直し等を実施したことで、月15時間の**残業が月10時間未満に削減。**

大塚セラミックス(株)

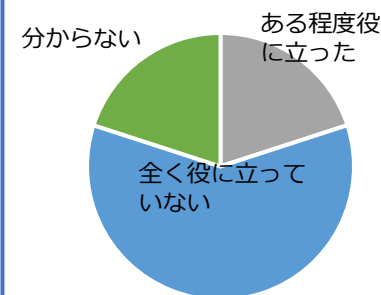
生産ラインにおける不良品発生要因を詳細データで再分析したことで、**従来から不良率を6%低減し、**一部製品では不良数が10分の1となった。

・オープンバッジ

県認定講座の修了証として、デジタルリテラシー実践講座・データサイエンティスト育成講座の修了者に提供



アンケート結果



- ✓ オープンバッジが役に立っていない(8割)
- ✓ 昇給や異動、転職に活用した(なし)

分析・評価

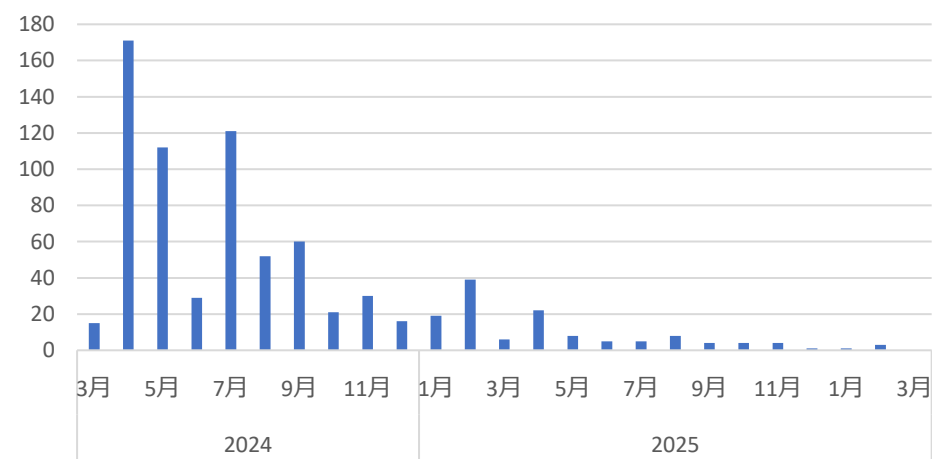
- スキルや学習歴の可視化に資するオープンバッジを提供しても、昇給や転職活動など、受領者の具体的な行動変化につながった例がなかった
- 一方、**徐々に認知度も向上し、今後の国内の普及が見込まれる**

これまでの取組みの分析と効果検証⑧

● AIマッチングサイト

登録者数：756名

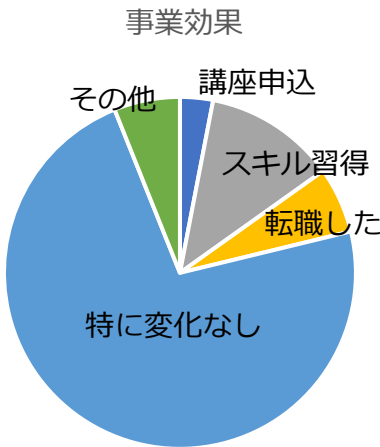
登録者数の経過



(参考) 各サイト比較表

診断項目	AIマッチングサイト	Job tag	マナビDX	生成AI (ChatGPT等)
開設(強化) 時期	2024年3月	2024年3月	2025年7月	—
運営主体	茨城県	厚生労働省	IPA (情報処理推進機構)	OpenAI
対象ユーザー	茨城県内の求職者・企業	全国の求職者・事業者	全国の働き手・学習者	幅広い利用者(個人・企業等)
機能の特徴	講座提案／職業診断	職業診断・職業情報検索	講座検索／学習プラン作成	講座提案・職業診断・学習プラン作成等多用途

アンケート結果



分析・評価

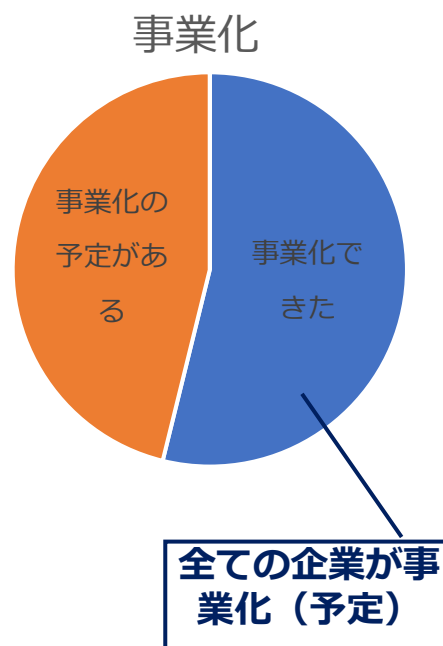
- 講座申込みや行動変容につながった例はあるものの、2024年7月以降、登録者数が伸びていない状況
- 生成AIの急速な進展や国ツールのアップデート等が要因と考えられる
- 生成AIや国ツール(Job tag、マナビDX)等により、講座提案や職業診断等の機能は代替可能
- 個々の状況に応じた行動支援にはキャリア相談が重要であるため、国ツールを活用しながら引き続き実施

これまでの取組みの分析と効果検証⑨

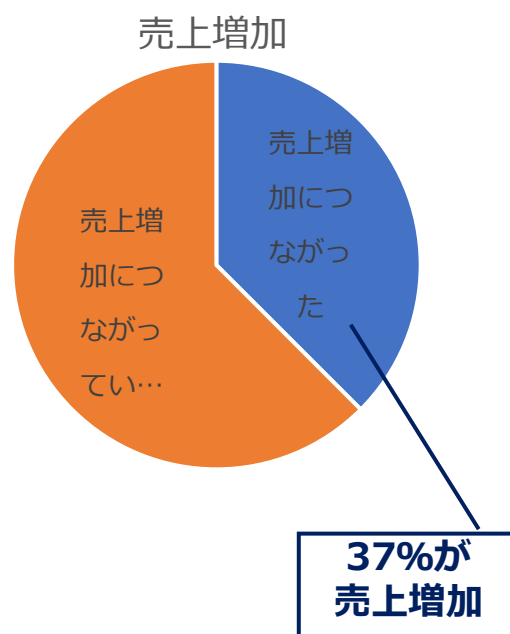
● 中小企業人材育成支援補助金

デジタルスキル習得に係る従業員の資格取得やスキルアップのための研修参加費等を支援
活用者数：164名（2020年から実施）

アンケート結果



分析・評価



- 支援を通じて新たなスキルを習得した結果、事業化や売上の拡大に繋がっている企業が出てきている。
- また、近年は生成AIやデジタルマーケティングなど、求められるデジタルスキルの幅が広がっており、企業ごとに必要なスキルが多様化している。
- **企業ごとの課題に対応したスキル習得を支援することで、新事業展開や生産性向上をさらに促進していく。**

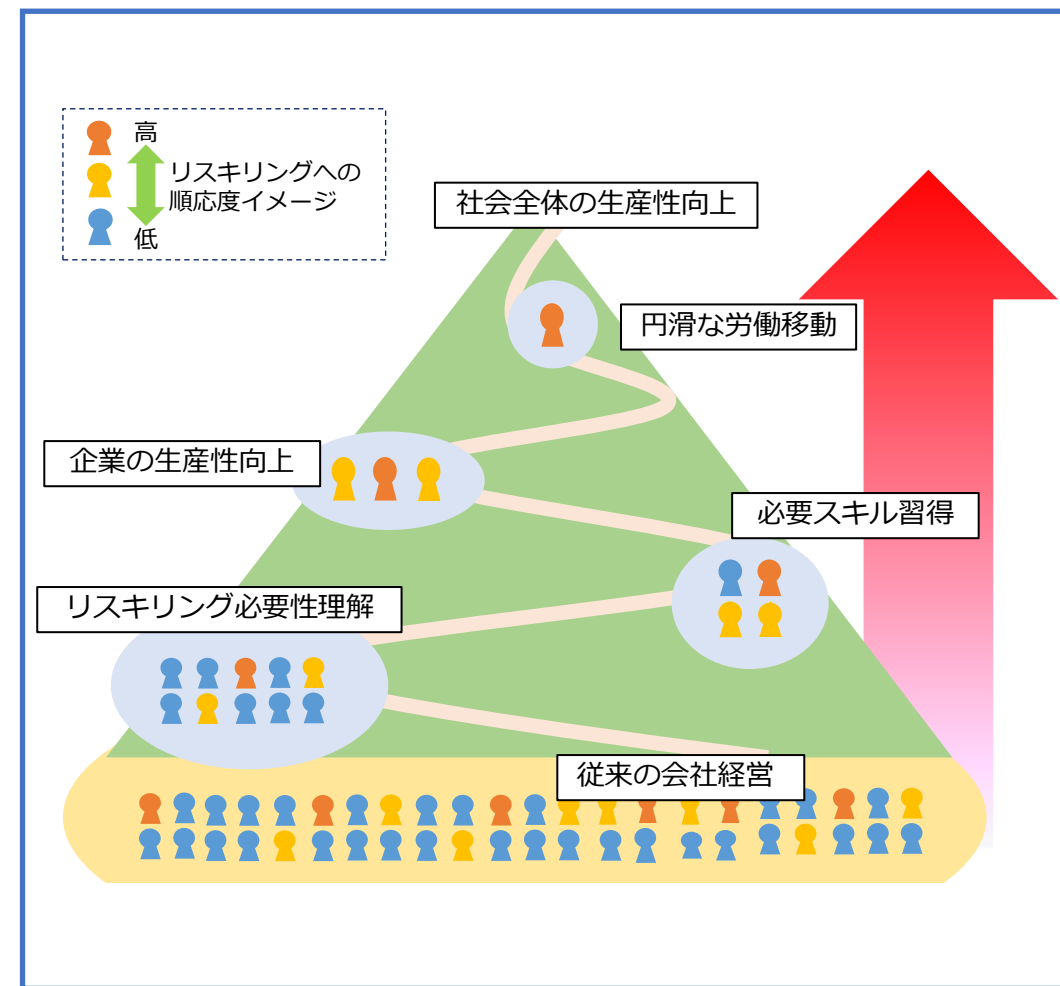
新たな課題と今後の取り組みの方向性

- リスキリングの重要性を理解し、スキル習得や生産性向上に取り組む個人や企業が**着実に増えてきている**ものの、**従来の会社経営を行っている企業や従来の働き方をしている個人が依然として多い**。
- このため、現在の事業の成果を分析し、**選択と集中**を図ったうえで、施策の実効性を高めていきたい。

意識啓発・機運醸成 ▶ リスキリングの重要性を理解し、人材育成に取り組む層を拡大

スキル習得支援 ▶ さらなる成功事例創出の契機となり得るため、実践的なプログラムを強化

好事例の横展開 ▶ 顕彰制度やスキル習得支援により、他の参考となる好事例を質・量ともに向上させ、強力に発信



(参考)

企業訪問：延べ268社（R5～R7現在）

今後の事業実施方針

意識啓発・機運醸成	今後の方針	効果検証の評価
リスクリング推進宣言制度	継続	- 業務効率化など具体的な成果を実現している企業もあるが、多くは宣言を契機とした意識変革や環境整備の段階に留まる - 実際の成果を安定的に蓄積するためには、さらなる時間と継続的な取り組みが必要
リスクリング先進企業の表彰	継続	好事例をさらに蓄積し横展開を強化することで、新たな優良事例やロールモデルを創出し、社会全体の生産性向上を目指す
ワークショップ	改善の上、継続	- 学び合う文化醸成のため、組織を超えたネットワーキングの場として引き続き活用していく - メディアへの積極的な情報発信
シンポジウム	継続	引き続き、県内企業の先進事例を横展開する場として活用
ポータルサイト	改善の上、継続	- 推進宣言、企業好事例ページの充実と更新強化を重点に継続して運用 さらに個人の好事例やイベントページの充実を図り、個人・企業双方のニーズに対応していく
スキル習得支援	今後の方針	効果検証の評価
教育機関への社会人向けリスクリング講座設置支援	廃止	講座の標準化や運営ノウハウの定着など、一定の成果が見られることから、当該事業は一定の役割を果たし終えたものと判断
デジタルリテラシー実践講座	改善の上、継続	好事例を増やすために、分野を超えて応用可能なツールを学ぶコースの追加や企業の業務課題解決に資する実践的なコースの拡充など、講座内容をブラッシュアップしながら実施していく
データサイエンティスト育成講座	リニューアル	民間で多様かつ実践的なプログラムが展開されるようになり、一定の役割を果たしたが、利用者の利便性向上を図れるようリニューアル
オープンバッジ	継続	昇給や転職活動など、受領者の具体的な行動変化につながった例は限定的であるが、認知度向上に伴い申請件数は増加しており、今後は業務改善など成果を上げた個人を評価・可視化する仕組みとしても活用
A I マatchingサイト	廃止	- 生成AIや国ツール等により講座提案や職業診断等の機能は代替可能であり、一定の役割は果たしたため、廃止 - 一方で、キャリア相談は、個人のキャリア形成を支援するなど機能を拡充して実施
中小企業人材育成支援補助金	継続	- 引き続き、デジタル人材の育成を図り、企業の新事業展開や生産性向上を促進するための支援を実施 - 成果事例の収集・発信で事業化促進を図る

本県のリスキリング施策 ～ 2本の柱を強化～

【意識啓発・機運醸成】

茨城県

リスキリング
推進宣言制度

リスキリング
先進企業の表彰

ワークショップ
シンポジウム

ポータルサイト
による情報発信

産業界

会員企業への情報周知

裾野
拡大

実践
支援

人材
マッチング

ターゲット別セミナー等の強化
個社ニーズに応じた実践支援の強化
インターンシップ等の実施

好事例の質・量の向上

労働移動の促進

【スキル習得支援】

茨城県

データサイエンティスト育成講座

リニュー
アル

デジタルリテラシー実践講座

拡充

中小企業人材育成支援補助金

継続

オープンバッジ

継続

リスキリングキャリア相談

継続

教育機関

社会人向け講座

国

マナビDX・Job tag等

事業KPIについて

■リスティング推進協議会としてのKPI

◆事業KPI（2023年～2025年）

リスティング推進宣言企業数 **150社** 顕彰企業数 **30社**

- これまでの3年間で、リスティング推進宣言企業数は目標としていた150社を上回る200社を達成。企業の人材育成に対する意識改革や取組の契機として一定の成果を上げてきた。
- 宣言を通じて、社内体制の整備やスキル習得支援の実施、業務改善・生産性向上などの好事例が生まれており、県内企業の間でリスティングの重要性が着実に浸透しつつある。
- 一方で、顕彰企業数はKPIとして掲げた30社への到達は難しい状況。これは人材育成の成果が中長期的に現れることに加え、成果の定量・定性評価が難しかったことが主な要因である。
- また、そのほか、依然として多くの企業がリスティングに対する具体的な取組に踏み出せていない状況も見られることから、引き続き、裾野のさらなる拡大と、好事例の横展開を促進することが重要。
- こうした取組みを通じた、県内人材の生産性向上という結果が重要である。

◆事業KPI（2026年～2027年）

リスティング推進宣言企業数 **200社** 顕彰企業数 **20社**

リスティングにより従業員の生産性向上を実現している数 **100社**